

～日常に潜む危険～

ペットの異物誤飲 原因の1位はなんと竹串！！

アニコムが「どうぶつ健保」対応病院に対して、異物誤飲に関するアンケートを行ったところ、多種多様なものが原因として挙げられました。

とくに目立ったのが、ゴミ箱をあさって異物を飲みこんでしまった、おもちゃとして遊んでいるうちにその一部を飲みこんでしてしまったというように「匂い」や「遊び」がきっかけとなるケースです。同じ犬が何度も異物誤飲で来院したという意見も多く、飼い主の責任のひとつとしてペットの生活環境や遊び方へ配慮することの重要性が改めて浮き彫りとなりました。

また、1歳未満の犬が異物誤飲で受診する割合は、1歳以上の犬の約4倍というデータもあるため、幼齢期の犬には特に注意が必要だといえます。

異物誤飲を防止するには、周囲に原因になりそうなものを置かないのが原則です。ペットのいる部屋は整理整頓を心がけ、ゴミ箱は、ペットの手の届くところに置かない。誤飲をおこしそうな大きさのおもちゃは与えないなど、飼い主の日頃からの心がけが何よりも肝心です。

異物誤飲の原因

	異物誤飲の原因となったもの	件数
1位	竹串	133件
2位	トウモロコシの芯、果物や梅干の種	128件
3位	人の医薬品(特に糖衣錠)	126件
4位	石・砂	121件
5位	靴下など布類 / ひも	各115件

【その他多く寄せられた回答】

鶏の骨(クリスマスに多発)、ジャーキーなどの食品やその包装物、アクセサリなどの小物、硬貨(1頭が222枚食べたケースも!)、釣り針(魚の匂いが付いているため)、肥料、洗剤などの薬品、駆虫剤、電池、タバコ、避妊具、ゴルフボール(1頭で35個の報告あり)

集計方法 : アニコム「どうぶつ健保」対応病院へFAXによるアンケートを実施し

175病院(複数回答あり)からの回答を集計